

# BMS 7月例会のご案内



—128th Bungeiken Metropolis Seminar—

 **7月5日(日)9時30分～12時30分**

 **大東文化会館 404 研修室** (池袋駅より各停で15分、東武東上線「東武練馬」駅下車2～4分。大東文化大学板橋キャンパスとお間違えなく)

 **テーマ 国語の授業を豊かに構想・展開する**

教科書指導書どおりやワークシートをうめることで“やった感”を演出する国語の授業の広がり、現場の教材分析力・授業構想力の劣化が問題になっています。全国紙の取材を受けた明星学園小学校の川柳の授業づくりと、6月例会の教材分析を基に「おおきなかぶ」の授業実践報告。さらに大阪で開かれた国語4団体合同学習会での報告から認識と表現の力を育てる国語科教育のあり方を追究します。

**報告①:短歌と俳句をつなぐ川柳の授業(6年)**

報告:松園悠介さん(東京文芸研 明星学園小学校)+ 淘江正仁さん(同)


**報告②:「おおきなかぶ」の授業報告(1年)**

報告:長谷川洋さん(東京文芸研 聖徳大附属小学校)

**報告③:想像力と認識力を育てる文芸教育**

—国語4団体合同学習会(大阪・枚方市)報告—

報告:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

 **参加申込** (ハイブリッド方式) 現地参加は先着40名とさせていただきます。

申し込みについては、現地参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。

現地参加・オンライン参加共に500円

参加申し込みは <https://bms202607-bungei-tokyo.peatix.com/> から



【文芸研東京学習会(BMS)連絡先】上西信夫  → [nobu.uenishi@outlook.jp](mailto:nobu.uenishi@outlook.jp)

アホウドリ  
次頁から信天翁通信

## 東京文芸研学習会(BMS7月例会)のご案内

—128th Bungeiken Metropolis Seminar—



📷半夏生

🌸関東の梅雨入り宣言があった6月7日（日）、大東文化会館を会場（オンライン併設）にBMS 6月例会を開きました。今回は「6月文芸教材、これだけはおさえよう」のテーマで、「おおきなかぶ」を長谷川洋さん（東京文芸研 聖徳大附属小）が、「一つの花」を西真由子さん（東京文芸研 湘南学園小）が、「まいごのかぎ」を上西が報告しました。

報告①「おおきなかぶ」——長谷川さんには緻密で多くの資料を用意していただき、物語論的なアプローチやインクルーシブ教育など今までの文芸研の「おおきなかぶ」の分析・解釈、授業では看過していた角度からの問題提起がありました。今回の報告を基に勤務校での授業実践の可能性も追求したいとの発言もあり、続けて授業実践報告の機会が7月例会で実現されることになりました。

「一つの花」の西さんの報告②では、校内研の担当となって職場内サークルを立ち上げることを提起し、その第1回学習会で参加者から出された意見——想定された読者とは違う今の学習者に必要な《だんどり》、《仕組》《仕掛》と《構造・関係・機能》の認識方法との関係、題名の象徴的意味、“暗い話で読み終わりたくない”という声と《美と真実》の関係、配当授業時数の問題…など——生の疑問・関心から出発する実践的な報告でした。

③「まいごのかぎ」報告では、ファンタジー（現実と非現実のあわいに成り立つ世界）作



に頼らない授業構想力の獲得—視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。

23年夏の山口大会、24年の徳島大会、25年の千葉大会、「国語の教室」、各地の講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びをと願っている方、教職をめざしている方、青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

## 🍁インフォメーション

▼国語4団体合同学習会（大阪大会プレ・オンラインセミナー） 6月13日（土）9時40分～16時 枚方市ラポールひらかた 参加費500円

▼八王子文芸研基礎講座 6月19日（金）18時～20時 八王子市立高嶺小学校・オンライン併用 『きつねのおきゃくさま』で、何をどう教えるか 講師：上西信夫

▼今年度のBMS例会予定（原則第1日曜日） 9時30分～12時30分 **大東文化会館**



📍京都の和菓子・水無月

※期日・会場は予定です。直前のHP掲載のBMS例会案内で確かめてください。

（東武東上線「東武練馬」駅下車4分）

- ・7月5日（日）大東文化会館
- ◎8月1～2日大阪大会 枚方市
- ・9月6日（日）大東文化会館
- ・10月4日（日）大東文化会館（予定）
- ・11月1日（日）大東文化会館（予定）
- ・12月6日（日）大東文化会館（予定）
- ・1月10日（日）大東文化会館（予定）
- ・2月7日（日）大東文化会館（予定）
- ・3月7日（日）大東文化会館（予定）

▽「文芸教育」（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）最新138号 好評発売中！ 特集「小学校教科書の詩教材 豊かに深く授業する」／137号 特集「国語の授業で平和学習を」好評発売中！ 各号1700円＋税 バックナンバーあります。年間購読をお願いします。例会でも用意します。

▽光村版・**新教科書指導ハンドブック**（学年別）発売中／新読書社より各学年1700円＋税 セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第1弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第2弾「一つの花」・第3弾「おおきなかぶ」・第4弾「わらぐつの中の神様」・第5弾新刊「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にでき使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各1000円＋税



奥葉子著 新読書社 1000円



辻恵子著 新読書社 1000円



文芸研編 明治図書

BMS 会場案内



板橋キャンパスと間違えないでね



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7駅（約15分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩2~4分／学習会会場はK404 研修室（40人収容）、

9時から13時まで借りています。(山中吾郎さんに尽力いただき、7月5日(日)、9月6日(日)まで予約済み。今から予定に入れてください。エデュカス東京(麹町)より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続き現地参加にご協力ください。

## 「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

妹と休暇を合わせお茶を飲むカフェ2軒分たまった話(富山/松田梨子)  
一人旅したくて勤務表を見る食(しょく)か景色か西か東か(富山/松田わか)  
じいちゃんは孫の二人の名迷ったらちょうど間の発音で呼ぶ(佐伯/河北苗)  
制服のネクタイをカッコよくできた朝はすべてがうまくいきそう(奈良/山添聡介)  
思い出の森の中なる春の鹿(フランス/デュマ アンジェリーナ未来)  
檜の森春の光が道つくる(フランス/キャロンコット マティス)  
ホテルイカうなずいて食べる父と母私もこの春うなずいてみる(富山/松田わか)  
里帰りして目が合ったぬいぐるみ私を判別した後笑う(富山/松田梨子)  
おれたちの戦場送りに賛成か友と眺める国会中継(調布/吉野楓) 徴兵制に反対の18歳  
新しいクラスを予想して友と階段一段とぼしで登る(奈良/山添葵)  
授業中に風が頁をめくりたることもなくなるデジタル教科書(つくば/山瀬佳代子)  
前に行く群青色のランドセル(川崎/しんどう藍) 前をゆく学童の明るい未来のとの評  
遠足の園児の列におぢいさん(蒲郡/三田土龍) 歩く速度が同じくらいで一緒になったのかな。  
地方紙はひっそり伝う寺山の学びし校舎来春閉校(五所川原/戸沢大二郎) 寺山修司が卒業した  
三沢市の古間木小・中のことか。作者の戸沢さんは歌壇常連、元教師らしい。  
「打ち込めるもの何かないの」と聞く娘 二十年間あなただったの(高槻/鈴木紀子)  
こどもの日、母の日、父の日来る前に味わう前に結希君逝けり(八王子/額田浩文) 胸が痛む  
南丹市の男児遺棄事件の被害者のこと  
教室で育ちしモンシロチョウは今児らに送られベランダより発つ(郡山/藤田好子)  
キッズ用めがねからメンズ眼鏡へと子のフレームを買い換える春(奈良/山添聖子)  
遊ばせよ戯れさせよ子供の日(尼崎/田中節夫)  
ケンケンパして帰る声新学期(練馬区/早川厚)  
目の見えぬあなたの連れし幼子はすべての爪の切り揃えてあり(さいたま/橋空)  
嫁ぎたる娘のピアノふと開き一本指で弾くドレミファソ(行田/須賀信子)  
ドラムスのリズムを皮膚で感じ取る聾学校の音楽の授業(半田/森下久子)  
五十年経し教え子の同窓会戦争に行きし子一人もをらず(伊勢/橋本輝久)  
高卒で働くと言う君の背は大きく見えるか細くも見える(市川/松丸史佳)  
息子だなど分かった場所から動かずに見ている息子の一人の時間(流山/坂本真衣子)  
中学に入れば無口や鯉のぼり(横浜/阿部豊)

ぺこぺこと頭を下げて入り来る鴨居より高く伸びし孫らよ（札幌／谷代久恵）

アルテミス映す地球の美しさ 人種・民族・戦火は見えず（川崎／井上一雄）アルテミス計画のオリオン号の歌句多し

宇宙船8の字描き周回す月への探求あ無限大（熊本県／甲斐一孝）

お月様の裏を通れる船あれど海峡通れぬ船あまたある（京都／藤本かおり）

争いの絶えぬ地球の美しき遥かな月の裏より見れば（船橋／伊藤早苗）

夜桜や月の裏まで覗かる（長崎／下道信雄）

「初」と「晩」の柔らかい時がなくなっていくなり始まる春夏秋冬（春日井／神戸豊子）

資源なき日本でよかったのかもしれぬ石油が出たらランプの餌食（小山／大塚裕）ベネズエラ・イラン侵攻は石油の利権目当て

早々に花見切りあげ居酒屋に昼酒となる おそれた通り（堺／柴田義勝）

わたしなんてわたしなんてと言うときのわたしまみれのわたしの心（横浜／宮尾大地）「わたしなんて」と謙遜したり卑下したりする自分を観察。「なんて」と言いながら、私が絶対化されてもいるのだ—という永田和宏氏の評絶品

摩訶不思議ゼロを乗ればゼロとなりゼロで除すれば無限大なる（東京都／萩野谷雅樹）

オスカルのような上司が着任し革命前の春の静けさ（東京都／岩橋戸代子）女性上司の着任に期待と緊張。次も比喩が効いている。

手術後に初めて立ちたりわたくしは箱に立ちたるティッシュのように（八王子／額田浩文）

高級車並みに輝くトラクター田に入りゆくローン背負ひて（松山／宇和上正）田植えの時期到来にまつわる歌も多い

浴室に大きなバケツその中に種籾浸して米づくりが始まる（前橋／都木眞知子）

畔塗りも機械の世とはなりたれど春の田仕事しづかにすすむ（横浜／白川修）

澄みきった美しい声はほととぎすトカゲ食べたか効果あったか（岡山／上野房子）「てっぺんかけたか」の鳴き声の振り

線香と花と一合瓶を持ち島へのフェリーに乗る放哉忌（観音寺／篠原俊則）尾崎放哉忌4月7日、小豆島西光寺南郷庵で死去。足立悦男氏による「みんなごあんの春」に詳しい

片富士に鷺の雪形くっきりと浮かび上がって盛岡に春（盛岡／舟山治夫）賢治も何度も登山したという南部片富士・岩手山。別名巖鷺山（がんじゅさん）。表岩手山（盛岡側から見る岩手山）には雪解けの形が飛来する鷺の形に見え、春の到来を告げる

遺骨なき空白埋めんと克明に刻まれている祖父の戦歴（中津／瀬口美子）

虚子の忌や灰（ほの）かに届く甘茶の香（敦賀／中井一雄）虚子忌、釈迦生誕の4月8日

たつぷりの練乳昭和めく苺（甲府／辻基倫子）かつての果物は酸味が強かった。苺に練乳、夏みかんやトマトに砂糖だった

前置きも後書きもなし初蝶来（く）（目黒区／日出嶋昭男）

逃げ水を追はずして何追うて生く（世田谷区／有馬由起子）

富士（ふじ）仰ぐことこそ大岡の忌（秋田／荻原都美子）4月5日は三島市で生まれ三島市で生涯を閉じ

た大岡信の忌（季語）。第2回大岡信記念／富士山俳句大会大賞一句

この人の世話なんかももうゴメンだとおもう時まで死んじゃイヤだよ（半田／石橋美津子）

「戦争があったらもっと儲かるぞ」そういう国に一歩近づく（秦野／丸橋弥生） 武器輸出解禁に大きく舵を切った高市政権。かつて宮澤喜一首相は「武器輸出をするほど日本は落ちぶれていない」と国会答弁したのに  
時事詠も情報局の取り締り対象歌へとなるるを怖るる（大津／船岡房公）「茶色の朝」がそこまで  
我が父は陸軍輜重（しちょう）二等兵軍馬（うま）より下の階級（くらゐ）と聴けり（横浜／白川修） 輜重一兵站、物資の輸送・補給を専門に担った後方支援部隊

木曜日あふれるプラごみ君たちもあのホルムズを通して来たか（久留米／春日登）

ペンライト振って三万六千人ライブのノリでする護憲デモ（茂原／麻生雅子）

欲しいものトランプが映らないテレビ連日連夜募る憂鬱（五所川原／戸沢大二郎）

汗かかず息継ぎもせず水飲まず二足ロボット走る不気味さ（観音寺／篠原俊則） 軍事用に転用  
されれば怖い 永田和宏選

仕事する重油が足りぬと嘆きおり鰯の漁師もいちごの農家も（観音寺／篠原俊則） 高野公彦選  
海峡を我が物顔に封鎖する百万年に満たぬ人類（観音寺／篠原俊則） 川野里子選

農継がず美術教師となりし父仏ばかりを描き逝きたり（観音寺／篠原俊則） 佐々木幸綱選 常連  
の篠原さん選者全員からの異なる4首入選。2週間後この稀有なことを讃える次の歌入選

篠原氏豊かな感性実を結び四選者が推す異なる四首（狭山／猪俣英行）

死者のみな笑まふ写真や昭和の日（茅ヶ崎／清水吞舟）

泣きべその写真ばかりよ昭和の日（新宿区／各務雅憲）

春風や闘志の欠片あらまほし（我孫子／相川健） 春風や闘志いだきて丘に立つ（虚子）をふまえて

前髪をひらひらさせて初蝶来（はつちょうく）（長崎／里中和子）

人殺す兵器の記事の多き朝列島いっそう弓なりに反る（東京都／十亀弘史）

あの日から売れぬ牛らと十五年生きる人あり浪江の牧に（宇都宮／粟生翠）「希望の牧場」あり

武器輸出猛スピードで同意なく決められてゆく時代は変わった（長野／弥津信子）

耕耘機エンジンの音観自在菩薩行深（かんじざいぼさつぎょうじん）と唸って動く（埼玉県／高柳茂）

「音観自在菩薩行深般若波羅蜜多時」般若心経の冒頭の一節。秋の豊作を祈るように聞こえる

知っているつもりで実は知らぬのは親子と同じ憲法のこと（筑紫野／二宮正博）

☆八十年われらを守りてきしものをわれらが守る時が始まる（北海道／高井勝巳）

九条も廊下に立てり令和夏（大宰府／彦坂正孚） 渡辺白泉の「戦争が廊下の奥に立っていた」をふまえ、  
戦争の影が忍び寄ってくる不気味さ。それを止めるのは九条

蓬（よもぎ）独活（うど） 薇（ぜんまい） 蕨（わらび） 落（ふき） 春の山菜の漢字いかめし（つくば／小林浦波）

☆連休の憲法、みどり、こどもの日、浮かれるなかれどれも瀬戸際（札幌／田巻成男）

兵たりし父の犯しし罪ゆえかわが家に黄砂今年も多し（西宮／市橋昌己）

片言の「どうぞ」に席をゆづられて異国の人にも老いを証（あ）かざる（広島／金田美羽）

武器持たぬ平和論など幻想と世界の二大大国示す（五所川原／戸沢大二郎）

連休のゴミ収集休みなく働きくれる人も鴉も（観音寺／篠原俊則）

戦争を知る人なきを待てるかに日ごと高まる改憲の声（加東／藤原明）

たくさんの人を殺せば売れる武器 武器を売るとはそう言う事だ（周南／松岡哲彦）

☆戦争が日常の色奪いゆくモノクロームのポテトチップス（奈良／山添聖子） 中東情勢の緊迫化を受け、カルビーがポテトチップスやかっぱえびせんのパッケージを白黒を基調とした2色印刷（石油原料節約パッケージ）に切り替えた。政府はナフサは足りているという見解を出しているが、現場では値上がりや入手困難の声が上がっている。政府のカルビーに対するヒアリングや“売名行為”との声も上がっている。“贅沢は敵だ”の戦時下スローガンで戦争の時代はモノクロ化する。

水俣忌握り拳の中にある（横浜／三玉一郎） 水俣忌5月1日。1956年5月1日に水俣病が公式に確認された日であり晩春の季語／のさりと悲しき言葉水俣忌（加藤祐子） 椿累々海の底まで水俣忌（長谷川權）

九条の八十年の夏惜しむ（福島県伊達／佐藤茂）

禍福禍福禍福禍福の生（せい）なれど次来る福は特大がいい（札幌／西原由佳） 禍福は糾える縄の若し

アメリカは中国語では美国（メイグオ）なり本当にそうか習近平（シーチンピン）さん（船橋／佐々木美彌子）

次はアナウンサー・解説者泣かせのワカタカカゲ。夏場所優勝

滑舌（かつぜつ）に若隆景を繰り返すつかへず言えるの三度がやつと（名古屋／三好ゆふ）

母の日も父の日もなくガザの孤児その日を生きるバケツの粥に（東京都／三角逸郎）

人を待つ人はするどき目を持ちきハチ公前のスマホなき頃（仙台／沼沢修）

しゃくしゃくと前髪を切るこれまでの私さようなら視界良好（流山／汐入音佳） 量感のある声喩の効果

「内容のある雑談のできる人」女としては微妙な評価（東京都／上田結香）

親猫が小猫を抱え舐め続くどこにでもいる神というもの（観音寺／篠原俊則）

収穫さなか軍機うるさし大砲を撃つ思いにてキャベツを放る（羽村／川元源一） お隣の横田基地の訓練機の爆音

ゴッホの黄あ椅子ならいつまでも君を待てそう「夜のカフェテラス」（横浜／杉本恭子）



残念な音に設定しておいた部長のラインが届く祝日  
（生駒／高橋裕樹）

☆一字でも九条変えればこの平和壊れる蟻の一穴となる  
（八王子／額田浩文）

映画館銭湯書店なくなりてただ住むだけの町となる  
（観音寺／篠原俊則）

全身を風に舐められ更衣（ころもがえ）（霧島／秋野三步）

春と夏の日との行き交ふ更衣（越谷／新井高四郎）

ファン・ゴッホ「夜のカフェテラス」／大ゴッホ展～8/12まで 上野の森美術館



📷 ノウゼンカズラ

## アホウドリ 信天翁の身辺雑感

🦅 3月16日に発生した辺野古沖転覆事故で、同志社国際高校の女生徒と船長が死亡した事故（他に生徒14名と乗組員2人の16人が負傷）は、沖縄戦の悲惨な戦争体験から生まれた「命（ぬちどぅ）宝（たから）」の沖縄での事故ゆえ余計痛ましく、あってはならない惨事であった。同校の安全管理責任は当然検証されなければならない。しかし5月22日、文科省はこのこととは別に同校の「政治的中立性」（14条2項）を理由に「教育基本法違反」初の認定で同校の指導に乗り出した。また、京都府は同校への私学助成金の減額を検討するとの報道もあった。森友学園のときと大きな違いである。玉城知事や沖縄の2紙は沖縄の歴史や現状を知ることと、平和学習の委縮につながると懸念を表明した。

そもそも「政治的中立性」「不当な支配」が教基法に書き込まれたのは、先の戦争で教育内容に介入し、教え子を戦場に送った国家主義教育を貫徹していった歴史の反省に立ってのことである。憲法と同様に権力を縛るものとしての「政治的中立性」「不当な支配」である。それなのに時の政府の見解に反するような内容を「偏向教育」として教科書検定での制約を押しつけてきたのが安倍政権時からの手法であった。あの不倫文科大臣がイケシャアシャアと「教基法違反」を言うかと思うのは私だけだろうか。早速現場では、修学旅行で辺野古が見学コースに入っていないかを点検したり、沖縄修学旅行を変更する学校も現れ始めた。「教基法違反」の恫喝（介入）による“萎縮”そのものである。会として声明を出すべきだと思うが――。（全国委員会で検討済みであれば余計なこととお聞き流しを）

🦅 大阪大会と決まってからの現地枚方サークル（その中心にいる山中尊生さん）の企画力・行動力には目を瞠（みは）るものがある。昨年9月からのプレ・オンラインセミナーは延べ

12回（徳水さんの特別企画4回を含む）を数える。さらに「国語の教室」を枚方市はもちろんのこと、堺市、交野市、京都・綴喜と展開し、この間新会員も数名仲間に迎えたという。まさに野澤DNAを引き継いだ「竜は嵐を起こし天に昇る」運動論のお手本である。国語教育の不易・本流——“もっと文芸（学）教育を！ もっと作文教育を！”の志を同じくする大阪綴り方の会、なにわ作文の会、語り合う文学教育の会と文芸研の4団体で、60回記念ブレ・オンラインセミナーの特別企画の一環として、合同学習会が6月13日に枚方市で開かれる。力不足は重々承知で山中さんたちの心意気を感じて講演を引き受けた次第。子どもの人間的発達を願い、後押しする民主的諸団体が手を携えて進まないという展望は拓けないという認識に立っての今回の合同学習会である。違いを際立たせることよりも、そのつま先がどちらを向いているか、同じ方向なら一緒にやってみましょうと「おおきなかぶ」の典型化でもある。いみじくも私の大会初参加の44年前の16回大阪大会（守口市ほか）は、大阪国語教育連盟との共同開催であった。文芸研が「国語科教育の全体像（＝関連・系統指導）」を打ち出した時期、作文教育をめぐって国民会館でのパネルディスカッションを思い出す。壇上には西郷先生、山形英二さん、松元幸一郎さん、半仁田健二さんか加藤憲一さん？ 連盟側は清原久元さん、野名竜二さんら錚々たるメンバーだったと思う。そして今夏の枚方での60回大会、感慨深いものがある。現地枚方はやれることはすべてやるという運動を展開している。その思いと献身的な労力に呼応して、ぜひ質量ともに大きく成功させたいと思っている。皆さんの参加を願ってやまない。

📌 6月12日は西郷竹彦忌（2017年歿）。西郷先生に献杯を捧げつつ、翌日の大阪での合同学習会資料に目を通す。



📷 香魚、年魚とも呼ばれる鮎



# 第60回記念文芸教育全国研究大会・大阪大会



開催要項



主催：文芸教育研究協議会

## 1 大会テーマ《ものの見方・考え方》を育てる国語教育—真に深い学びを求めて—

ICTやAIをフル活用して「学びの自律化」「個別最適化」を目指す学習が今、どんどん進行しています。国語科も例外ではありません。しかし、ひとりの読みは、学級の友だちと語り合うことでより豊かになります。また逆に、みんなと話し合った豊かな経験は、一人ひとりの読みを前よりも深いものにします。だからこそ、語り合う授業が必要なのです。仲間と語り合う授業を通して《ものの見方・考え方》を育てる、これこそが私たち文芸研がめざす「真に深い学び」です。

文芸教育研究協議会委員長 辻恵子

## 2 大会期日 2026年8月1日(土)・2日(日)

- 3 会場 1日目 全体会 枚方市総合文化芸術センター別館 誠信建設工業メセナホール  
(〒573-1191 大阪府枚方市新町2-1-5 2・3F) ☎072-843-5551  
※Zoomでのオンライン配信有り(1日全日程・2日一部分科会)  
2日目 分科会 枚方市総合文化芸術センター別館(1日目と同じ場所になります。)

- 4 参加費 4000円(学生2000円) 現地参加・オンライン参加共通  
(1日参加の場合は、3000円、学生1000円)

## 5 大会日程

	1日目 8月1日(土) (オンライン併用)	2日目 8月2日(日) (一部オンライン有り)
会場 ・ 総合文化 芸術セン ター別 館	8:55～ 受付 9:15～ 9:55 開会行事/基調提案 10:00～10:50 実践報告 11:05～11:45 文化的行事「桂紋四郎さん」 11:50～12:45 昼食・休憩 12:45～14:45 記念講演Ⅰ「くすのきしげのりさん」 15:00～16:30 記念講演Ⅱ「鈴木大裕さん」 18:00～20:30 交流会	会場 ・ 総合文化 芸術セン ター別 館
		9:00～ 受付(各分科会会場) 9:30～12:30 分科会① 領域別分科会 12:30～13:30 昼食休憩 13:30～16:30 分科会② 学年別分科会

◇現地枚方サークルはじめ関西・四国ブロックに連帯して大阪大会に参加しましょう。早目の申し込みが何より現地を励ますことを昨年の千葉大会で経験したこと。交流会にも一

## 6 大会内容

○全体会(8月1日 9:15~16:30)

●基調提案 辻恵子(文芸研委員長) 『語り合う国語の授業をめざして』

●実践報告 赤穂徳郁(兵庫文芸研) 『つながりを育んだ文芸研の学び』

●文化的行事 桂紋四郎さん(落語家)



東京・神田連雀亭や大阪・此花千鳥亭で毎月「桂紋四郎落語会“極”」を主宰。  
さらに、なんばパークスや相模エンターテイメントショーホール「日楽座」では英語 MC を務め、伝統芸能と国際交流の架け橋として活躍中。  
また、講談、浪曲、落語、文楽、能楽、茶道、華道といった上方伝統文化を担う若手が集結した「霜乃会」の一員として、国内外に日本文化の魅力を「わかりやすく」「面白く」伝えている。

●記念講演Ⅰ くすのきしげのりさん(児童文学作家)



児童文学作家。1961年徳島県生まれ。小学校教諭、徳島県鳴門市立図書館副館長を経て、現在は児童文学作家として活躍中。  
絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』(ともに小学館)が、青少年読書感想文全国コンクール課題図書となる。『メロディ』『ええところ』『ともだちやもんな、ぼくら』等、小学校(2024年度改訂)・中学校(2025年度改訂)の教科書において、小学校1年生~中学校3年生の全学年の教科書に作品が採用・掲載される。また、『あなたの一日が世界を変える』(PHP研究所)『Life』(瑞雲舎)『わたしがはやくねるわけはね……』(小学館)等200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。

●記念講演Ⅱ 鈴木大裕さん(教育研究者・高知県土佐町議員)



16歳で単身アメリカに留学。スタンフォード大学大学院修了後に帰国し、通信教育にて教員免許を取得。6年半、千葉の公立中学校で教鞭をとった後に、コロンビア大学教育大学院博士課程に入学。2016年、人口4000人弱の高知県土佐町に家族で移住。2019年に町議会選挙に初出馬してから2期連続トップ当選。教育を通じた町おこしを目指しつつ、執筆・講演活動をしている。著書に『崩壊するアメリカの公教育：日本への警告』(岩波書店)、『崩壊する日本の公教育』(集英社新書)など。

○領域別分科会(8月2日 9:30~12:30)

分科会名	内容	提案者	オンライン
① 詩	文芸研の詩の指導入門 詩の授業—イメージと意味を探る詩の授業— 「つるつるとざらざら」「はくさい ぎしぎし」「あめ」他	村尾聡(兵庫) 上西信夫(東京) 根岸あずさ(明星学園小学校)	
② 作文	表現の喜びを感じ、書くことを楽しく豊かに	斎藤鉄也(北海道)	○
③ 絵本	豊かな文芸体験と深い学びの絵本指導	西真由子(東京)	
④ 文芸学	「きょうね」「白いぼうし」「木」	西脇美穂・池間龍三・角芹奈 (福岡)	
⑤ ものの見方 考え方	もの見方・考え方 -ものごとを深く考えるためのカギを子どもたちに-	清田和幸・大田晃司・酒井大輔 (山口)	
⑥ 説明文	条件を生かす説明文指導「ありの行列」	松山幸路(大阪)	
⑦ 特別分科会	平和認識を育てる ~国語科と社会科を関連させて~	浅海勲(大阪)	○

◇東京文芸研からは、絵本分科会で西さんが、詩分科会で明星学園小学校の根岸さんと上西が、中高分科会で小松さんがレポータを務めます。山中さんは中高分科会の司会者の任

とオンライン機械操作担当。

○学年別分科会(2日 13:30~16:30)

分科会	内容	提案者	オンライン
① 1年	「くじらぐも」	田井美由紀(神奈川)	
② 2年	「お手紙」	永淵和彦(佐賀)	
③ 3年	「モチモチの木」	秋山亮介(千葉)	○
④ 4年	「ごんぎつね」	吉田剛人(広島)	○
⑤ 5年	「注文の多い料理店」	酒井大輔(山口)	
⑥ 6年	「海のいのち」	若林悠恵(兵庫)	
⑦ 中学・高校	「少年の日の思い出」	小松小百合(東京)	

7 参加申し込みについて

(1) 申込期間 4月1日(水)~7月29日(水)

※現地参加のみ当日も受け付けます。ご希望の分科会に参加したい場合は、お早めにお申し込みください。

※資料は現地でお渡します。

※オンライン参加のみ、7月26日(日)以降資料をメールで配信します。

(2) 申し込み方法・お支払い方法

①グーグルフォームの場合 右横 QR コード「文芸研 60 申込」

または、<https://forms.gle/7r9hg7Xb7wTEffU2A> よりお申し込みください。

※お支払い方法

・ゆうちょ銀行振り込みとなります。(支払い期限 7月29日(水))

・申し込み確認後、メールにて振り込みについての詳細をお知らせします。



②peatix の場合 右横 QR コード「peatix」

または、<https://bungeiken-60-osaka.peatix.com> よりお申し込みください。

※お支払い方法

・クレジットカード/デビットカード/プリペイドカード、

コンビニ/ATM、銀行振り込み、paypal決済が利用できます。



※当日参加の方は現地で現金でお支払いいただきます。

※予約時に、分科会の希望を入力していただけます。先着順で振り分けるので、早めに申し込みください。

○現地参加……〈領域別〉〈学年別〉とも第2希望までお選びください。

○オンライン参加……〈領域別〉〈学年別〉とも「オンライン有」の分科会から1つお選びください。

※現地参加の方は、受付の際、「入金完了のメール」をご提示していただけます。「入金完了のメール」をプリントアウトしてご持参いただくか、スマートフォン等の画面で確認できるようご準備ください。

(3) 交流会 会場 梅の花グループ 食のつむぎ 枚方T-SITE店(枚方市駅より徒歩3分)

18:00~20:30 会費 6000円

※交流会は大会参加と同時に申し込みください。また、会費は当日現金でお支払いください。

交流会の会場の都合上(80名限定、貸し切り予約のため)参加される方は、6月30日(火)までにお申し込みください。

(4) 中止の場合 自然災害等で中止する場合は、メールでお知らせします。(文芸研 HP にも掲載します。)

なお、宿泊・交通費等、各自で手配されたもののキャンセル料は、参加者負担とさせていただきます。

◇申し込みはお済みですか。ホテル予約もお忘れなく。枚方市にはホテルが少ないので、

京阪本線沿線で特急列車が停まる駅が会場の枚方市駅に便利です。

【会場へのアクセス】

- ◆全体会・分科会共に枚方市総合文化芸術センター別館 枚方市駅より徒歩 5 分
- ◆交流会会場 梅の花グループ 食のつむぎ 枚方T-SITE店 枚方市駅より徒歩 3 分



★第60回記念 大阪大会までの歩み「真に深い学びへのステップアップ」



2025年から延べ300人以上が参加し好評だったプレオンラインセミナーを開催してきました。アーカイブも作成しました。  
<https://forms.gle/9rdAiXXnVnNE75bD9>  
 (ご興味ある方は、サポーターにご登録下さい。アーカイブをご覧いただけます。)

- ◇大会事務局 ●山中尊生(大会内容、現地、申込関係) imokonoko54@gmail.com
- ◇全国事務局 ●酒井大輔(文芸研へのお問い合わせ) shese002@gmail.com

中書島・丹波橋・七条・五条・祇園四条・三条・出町柳。特急停車駅ではないが、快速急行が停まる京阪寝屋川・京阪守口・門真市もビジネスホテルがあります。

??大阪難読地名クイズ ①樟葉 ②交野 ③私市 ④十三 ⑤放出

大阪綴方の会 語り合う文学教育の会 なにわ作文の会 文芸研	<h1>合同学習会</h1> <p>主催：文芸教育研究協議会(文芸研)</p>
--	---

【四団体合同学習会(現地/オンラインハイブリッド)のご案内】  
大阪綴方の会×語り合う教育の会×なにわ作文の会×文芸研  
～「読む・書く」の不易を、いま一度たしかめる～

この度、「文芸教育研究協議会(文芸研)」の呼びかけに応じ、長年、子どもたちに寄り添い、教育を支えてきた「大阪綴方の会」「語り合う文学教育の会」「なにわ作文の会」の三団体が賛同し、ここに【四団体合同学習会】を結成・開催する運びとなりました。

それぞれが歩んできた歴史と熱い志が、一つの場を集結します。団体の垣根を越えてそれぞれが積み上げてきた実践から共に学び合ひましょう!日々の授業づくりに悩んでいる、子どもたちの表現力を引き出したい、他校の仲間とつながりたい先生など、どなたでも大歓迎です。若手からベテランまで、多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

四団体合同学習会事務局 山中 尊生(文芸研)

【日時】2026年6月13日(土)9:40~16:00

【場所】ラポールひらかた 〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目1-35

【参加費】500円(当日受付で現金払い/オンラインはPeatixで)

【内容】

9:20	受付開始
9:40	開会挨拶
9:50	実践報告 鬼頭昂平(大阪綴方の会) 「子どもにとって綴ることの意味を考えてみる」
11:20	実践報告 入澤佳菜(語り合う文学教育の会) 「おにたのぼうし」(教出・3年)
12:40~	昼休憩
13:30	講演 土佐いく子(なにわ作文の会) 「ことばの力は、人間形成と学力の鍵」——作文教育の出番——
14:40	講演 上西信夫(文芸研) 「想像力と認識力を育てる文芸教育」 ——確かさをふまえた豊かで深い読み——
16:00	閉会挨拶

【申込・問合せ】

●オンライン参加 Peatixにて 事前予約が 必要です		●現地参加 Peatixまたは Googleフォームにて お申し込みください		【学習会事務局】 山中尊生(文芸研) imokonoko54@gmail.com
		※フォーム内にPeatix のリンクもあります。	<a href="https://x.gd/NV06c">https://x.gd/NV06c</a>	

●大阪難読地名クイズの答え ①くずは ②かたの ③きさいち ④じゅうそう ⑤はなてん